

平成 20 年度 香川大学卒業式 学長告辞

今年の卒業式には、例年と違って、すでに桜が咲き始めております。また、純白のモクレンとコブシの花も君たちの門出を祝っています。学位記を授与された 1,261 名の諸君、卒業おめでとう。君たちの在学中における努力と熱意に心から敬意を表するとともに、明日へ向けて広がる夢と少々の不安が同居する船出に大いなる讃歌と応援のエールを贈ります。本日、ここに平成 20 年度卒業式が行われることは我われ教職員にとっても大きな喜びであり、心からお祝申し上げます。

さて、ここ半年あまりの経済状況の変化は 100 年に一度などと言われています。アメリカ大手証券会社の経営破綻はたった 1 週間で全世界を巻き込み、我われにグローバル化の進行を実感させる機会とばかりに日本をも巻き込みました。さらに、あっという間に世界金融危機へと姿を変え、昨年の日経平均株価の下落率は過去最大の 42%となりました。そして、残念ながら君たちの将来にも不安を感じさせています。

このような現状を引き起こした要因として、生産や生産物によらずにお金や証券などの紙切れに代表される金融によって利益をあげようとする、いわゆる金融資本主義がしばしば社会の話題になっていました。その金融資本主義の崩壊は、我われがこれまで信じ、目標にしてきた「幸せ」や「人間の豊かさ」とは何かを改めて問い直す必要を示しているように思えてなりません。今までとは違う「新しい価値」、言い換えれば「新たな文明史観」の創造が求められているように感じられます。

このような課題に応えられるのは君たち若者の特権であり、将来の日本の社会を担う君たちの責務でもあると思っています。君たちは香川大学在学中に深い教養を身につけ、豊かな人間性と高い倫理性をも兼ね備えています。さらに、幅広い基礎力と高度な専門知識を修得しています。香川大学でつちかった素養と人間力にさらなる磨きをかけ、日本における、いや世界における新しい価値や新たな文明史観の創造に貢献されることを強く期待しております。

さて、君たちのほとんどは 20 歳代前半の若者であり、まさに青春真っ只中で、そのことは君たち自身はもちろん両親や地域社会の人たちを始めとする周りの人たちもそのように思っています。青春という言葉に象徴される若者は、炎のよう

に熱い情熱と豊かな創造力，大いなるチャレンジ精神を持っているはずです．そのような情熱，創造力，チャレンジ精神をいつまでも持ち続けてくれることを願っています．「青春」という詩がありますのでその一節を紹介します．

青春とは人生のある期間ではなく，心の持ち方をいう．
青春とはバラ色の面差しやくれないの唇，しなやかな手足ではなく，
たくましい意志、ゆたかな想像力、もえる情熱をさす．
青春とは人生の深い泉の清新さをいう．

青春とは臆病さを退ける勇気，やすきにつく気持ちを振り捨てる
冒険心を意味する．

この後もまだまだ続きますが，これ以下は省略しますので興味ある人はその続きを別の機会に楽しんでください．

この詩は，サミエル・ウルマンという人が作ったもので，第二次大戦後に日本を占領した連合軍の総司令官であったマッカーサー元帥が座右の銘としていたことで有名になりました．

このような詩を紹介したのは，情熱，創造力，チャレンジ精神をいつまでも持ち続けてもらいたいとの期待から敢えて申し上げたものであり，記憶の片隅においていただければ幸いです．

先ほども触れましたが，この1年間，いやこの半年間の中に日本はもとより世界の経済状況及び社会状況は劇的に変化しました．就業や雇用の問題が世界中で大きく取り上げられています，地球温暖化に代表される地球環境の問題をはじめ，エネルギーや食料，水に関する問題は人類共通の課題としてきわめて重要なものであります．国内を見ても，少子高齢化社会の進行による地域社会のあり方や地域医療の崩壊に象徴される国民医療のあり方，いじめや学力向上に代表される教育問題，国と自治体の財政問題などは大きな国民的課題であります．これらの課題に対して，香川大学で修得した幅広く，深い教養に裏打ちされた専門知識を十分に活用し，挑戦して，豊かさを実感できる社会を実現するために貢献されることを期待しております．

私たちは、君たちが卒業した後も君たちに対して支援できることはできる限り支援し、君たち卒業生との交流を持ち続けたいと考えています。現在、香川大学では2週間に1回の頻度で、「香川大学メールマガジン」を発行しています。そのなかには香川大学の近況や全学・学部等の行事予定も掲載されています。もちろん、研究室やゼミの紹介もあり、私も「オリーブの葉かげで」のコーナーで登場します。ぜひ定期購読者に登録し、香川大学との交流を継続してください。

大学に対する社会の期待はますます高まっています。香川大学が卒業生の皆さんにとって、いつまでも誇るに足る大学であり続けるように私たち教職員一同は全力で努めます。香川大学を巣立つ君たちが、新しい環境のなかでも、何ができるかを常に考え、行動され、共生社会の実現に向けて活動されることを期待して告辞いたします。

平成21年3月24日

香川大学長 一井 眞比古